



学校だより

～立花小学校は令和5年3月に創立150周年を迎えました～

たちばな

2023年4月28日

尼崎市立立花小学校
校長 植木 加代子

五月 端午の節句は「こどもの日」です

若葉のみずみずしい季節を迎えました。入学進級からもうすぐ1ヶ月を迎える子どもたちですが、毎朝の登校では、相手の目を見て、爽やかに挨拶をして校門をくぐるできています。本当に嬉しく頼もしい子どもたちです。ご家庭のご理解や支え、温かい励ましがあってこそ、今の子どもたちの姿だと思っています。ありがとうございます。

この4月から、朝、登校する子どもたちを東門で迎える時は、校長はマスクをはずし、笑顔で一人ずつ目を見て挨拶するようにしています。一瞬であっても、一人ひとりと視線を合わせての挨拶を毎日交わし続けることで、心が通っていきます。それぞれの子どものもてる生命力に少しでもアプローチできればという精一杯のエールです。

一年生も、お兄さんお姉さんに混じり、大きなランドセルを背負って自分の荷物を自分で持って、立派に歩いて登校してきます。本当に感心します。「小学生になったから頑張ろう」という意欲と我慢強さが伝わってきます。そんな健気な1年生を守るように、上級生も良い表情で登校しています。遅刻も昨年度より少なくなっています。子どもたちが、それぞれに新たな気持ちで頑張る姿が見られます。

新しい学習も始まりました。1年生は給食やスタートカリキュラムでの自由遊びにMIM、3年生は専科の授業や習字にリコーダー、高学年は委員会活動などです。特に委員会活動は学校のため全校児童のためにと子どもが主体的に取り組む活動です。放送委員会は、給食時間に立派なアナウンスだけでなく、なんと英語のメッセージで締めくくる格好良さです。掲示新聞委員会の行事表はカラフルで廊下が明るくなります。生活委員会は毎朝門で率先して挨拶しています。どの委員会も低学年と中学年の憧れと尊敬の的です。

保護者の皆様、参観懇談にはご多用の中、多数ご来校いただき誠にありがとうございました。お子さんと、学年学級の、今後の成長のビフォーアフターの姿を見守り、励ましていただけましたら幸いです。

続けての家庭訪問期間にも、ご理解とご協力をありがとうございました。今回対面でお話できなかった保護者の方とも、夏までに担任とお話できる機会があればと思います。立花小学校は全職員で全児童を育てていきます。お子さんのことで心配なことがありましたらどの職員にでもご相談ください。学校と家庭が信頼関係を築くことが、子どもが安心して学び成長することにつながります。

早く皆がマスクをはずして笑顔あふれる今年度になればいいなと思うと同時に、5類になっても状況に合わせた対策は必要だと思います。また、学校でも家庭でも大人が疲れていると、子どもの話や心の声をきちんと聞き取るゆとりができないことも感じます。そのためにも本校は専門機関との連携を積極的に進めています。学校にとっても視点の違う専門家の意見を聴くことは重要です。大人が同じ方向性に関わることで子どもの心の安定と成長に繋がります。

間もなく大型連休がやってきます。子どもたちは頑張った分、見た目より新年度の疲れがたまっています。楽しむと同時にゆっくりと疲れを取ることができるよう、そして連休明けにすっきり登校できるよう、ご家庭でもスケジュールや生活リズムなど「こどもまんなか」のご配慮で楽しみましょう。よろしくお祈りします。

本校は昨年度より学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとなりました。子育てに奮闘するご家庭や学校を、地域の皆様が温かくサポートしてくださっています。幼保小連携モデル校の取り組みも続けています。全ての子どもが学力と社会性を育むことができる地域に根ざした小学校として、今年も「だれ一人、とりのこさない立花小学校」を目指してまいります。